

# 碩心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可  
神奈川 碩心 会 発 行

13年10月現在 逗子地区 葉山地区 大船地区 (合計)	会員数 124名 181名 24名 329名	13年10月 (349号) 発行者 千 葉 岳 関 編集者 白 井 岳 麗
--	------------------------------------	---

## 行事予定

○日本詩吟学院岳風会創立65周年記念大会

日 時・11月4日(日)

場 所・東京国際フォーラム・ホールA

神奈川県の合吟吟題(碩心会の出場49名)

男性Ⅱ神州、女性Ⅱ自訟

当日の役員として左記の先生が参加します。

加藤岳洵、上村岳章、松井正岳

○横須賀詩吟連盟発表大会

日 時・11月4日(日)

場 所・横須賀市文化会館(大ホール)

○碩心会逗子地区温習会

日 時・12月16日(日)

場 所・逗子市図書館ホール

◎連吟コンクールに優勝

去る9月23日(日)、横須賀第二地区大会が開

催され(はまゆう会館)碩心会より左記の三

名が連吟コンクールに出場し優勝しました。

西川幸岳、河田好山、福田喜山(幸和)

また左記の方々が高齢者表彰されました。

岩崎岳恵、白井岳麗、猪又房岳、石月魁岳

澁橋正風、田中絵風、大貫流風

おめでとうございます。

## 碩心会創立六十五周年記念吟道大会

総務部長 松井正岳

表記の大会が平成14年5月19日(11月1日

会場確保予定)葉山町福祉文化会館ホールで

举行される運びとなりました。

岳風会創立六十五周年記念全国吟道大会の

半年後に我が碩心会の六十五周年大会が行な

われることに会の歴史を感じています。

全国的にも一番古い会と云えます。誇りを

もって会員一同が、この大事業に当らなけれ

ばなりません。会長以下大会準備委員は一年

程前から大会準備に苦勞しております。

記念大会は次の要領で行われます。以下次

第、修礼、国歌斉唱、開会のことば、御製謹

詠、会員吟詠、書画華道吟、式典、アトラク

ションの御前太鼓、構成吟、招待吟詠、役員

吟詠、閉会のことば、万歳三唱と全百番位と

なります。特に構成吟「碩心会の伝統」は会

員及び招待の先生方にも参加して頂き『小楠

公』の大合吟が行なわれます。今大会は碩心

会会員全員の参加が望まれます。ご周知下さ

い。皆様と共にこの記念大会を成功させませ

よう。会員全員のご協力をお願い致します。

昇伝認許

(平成13年10月1日付)

- |          |          |          |                     |                     |                     |                     |                     |                     |                     |                     |          |                     |                            |          |                             |          |          |                      |          |                            |           |           |          |          |
|----------|----------|----------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|----------|---------------------|----------------------------|----------|-----------------------------|----------|----------|----------------------|----------|----------------------------|-----------|-----------|----------|----------|
| 295 鈴木豊山 | 294 福田喜山 | 293 有友嘉山 | 338 伊藤泰子<br>(初伝 4名) | 341 山口重泉<br>(三段 1名) | 322 鈴木光泉<br>(四段 4名) | 323 上村炎泉<br>(中伝 4名) | 312 中司祥泉<br>(中伝 4名) | 309 前田宏山<br>(五段 2名) | 306 山盛暉山<br>(五段 2名) | 301 上野花山<br>(六段 8名) | 302 中尾松山 | 367 松木和子<br>(初段 6名) | 364 山王 巨 <small>ツル</small> | 359 新倉令子 | 358 小川 晃 <small>アキラ</small> | 357 根岸和子 | 340 林田聖子 | 356 鈴木ヨネ子<br>(二段 7名) | 355 湯浅和子 | 351 田沢潤子 <small>トコ</small> | 345 佐久木利子 | 342 石渡みつ枝 | 337 斎藤紫泉 | 335 島 光泉 |
|----------|----------|----------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|----------|---------------------|----------------------------|----------|-----------------------------|----------|----------|----------------------|----------|----------------------------|-----------|-----------|----------|----------|

- |          |          |           |          |          |          |          |          |          |                     |          |          |                      |          |          |          |                     |          |
|----------|----------|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---------------------|----------|----------|----------------------|----------|----------|----------|---------------------|----------|
| 292 小島和山 | 291 有馬昌山 | 290 長谷川瑛山 | 263 稲村雄風 | 262 渡辺英風 | 261 高橋友風 | 260 島山真風 | 259 高館恒風 | 254 渡辺紅風 | 239 渡辺信風<br>(七段 3名) | 238 小峰美風 | 237 渡辺恵風 | 213 二戸部勝風<br>(八段 4名) | 212 矢島容風 | 211 矢島綾風 | 209 根岸京風 | 288 鈴木聡山<br>(奥伝 6名) | 287 植村奏山 |
|----------|----------|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---------------------|----------|----------|----------------------|----------|----------|----------|---------------------|----------|

第5回横須賀第二地区吟道大会

松和支部 南湖 収 風

好天に恵まれた秋分の日、表記大会が横須賀市はまゆう会館において盛大に開催された。9時30分定刻開会。修礼、国歌斉唱、平木岳栄大会実行副委員長の開会の辞、優勝杯返還の後、会員吟詠の独吟、合吟で和やかなうちに進行。午後の式典は10団体の会旗人場から始まり、神奈川県本部詩が松井正岳大会実行副委員長の先導で大合吟。大会の雰囲気盛り上がりつつある。大会会長・立平岳昇県本部長、来賓の長谷川岳聖総本部常任顧問の両先生の挨拶。ご祝辞のなかで「来る日月には、

総本部の創立65周年大会が開催され、この大会は是非成功させたい。横須賀第二地区から約百名の方の合吟が大会に華を添えていただくことになるので「全国一」と云われるように岳風流統の吟調に励み参列されるよう、切に協力をお願いしたい」と強調された。加藤岳心大会実行委員長からは、来賓諸先生方への御礼と、大会役員への労い、会員の皆様のご協力に感謝の意を述べられた。

平成13年度高齢者表彰では碩心会から7名の方々が、表彰状と記念品を受けられた。

気分を変えての華麗なる立体吟詩舞書道吟8題、大会に華を添えた連吟コンクールでは6組が出場し、日頃の研鑽の成果を競い合った。今大会では、当碩心会の「登楼」が見事優勝杯を手にした。

終盤に入り、日頃は聞かれない役員諸先生方の範吟には会場一杯の拍手が続いた。

閉会の辞では荒川岳深大会実行副委員長が「人は好きなことをやっている」と若さが保てる。詩吟をやって素敵な歳を重ねよう。」と締められ、佐藤岳統総本部常務理事の音頭で高らかに万歳三唱。

更なる健闘を互いに誓い散会した。

## 観感興起 全国少年少女吟道大会にて

青少年部長 立 沢 岳 晴

去る8月5日、三伏の猛暑の中、東京九段会館ホールにおいて、平成13年度全国少年少女吟道大会が開催されました。

子供達の先導で客席全員が大会宣言を唱和して、プログラム第一部の独吟が始まりました。笑みを浮かべている子もいれば、やや緊張している子もいましたが、吟詠が始まってみれば、どの子も真剣そのもので聴きごたえ充分でした。物怖じしない姿に大きな拍手を送りました。将来が楽しみです。

そして合吟の最初は長野の48名でした。壇上一杯に整列しての「偶成」は、とても力強くすばらしい吟声で頼もしく感じました。

さて、さがみ岳風会の吟詠は「富士山」でした。それはとても独創的なもので、唱歌が入りますが、頭には手描きの富士山の冠をかぶり、楽しい身ぶり手振りがつきました。一人一人の個性がよく出ていて、思わず微笑んでしまいました。会場からも温かい拍手が送られました。

そして昼食をはさんで、いよいよ構成吟と

なりました。「山川草木みな光あり」と題し自然を読んだ詩を中心に、唱歌を織り込んで展開されました。特に印象に残ったところをお話しましょう。

まず「海」です。出吟者女子全員の合唱でシンセサイザーの入った伴奏が新鮮でした。次は北原白秋の和歌「海峽の夕焼」です。小学生がふぐの絵をぶら下げた竿を持つという演出は、とても可愛らしいものでした。

その次は童謡「春の小川」です。この時はまず心地よい伴奏が流されました。「会場の皆様もご一緒に」と促され、私も声を張り上げ、しばし童心に返りました。親近感が湧き実に爽やかでした。最後に「富士山」です。優美な富士山のスライドをバックにした、出吟者全員の吟詠は圧巻でした。

第二部に入り、低学年では会場が割れんばかりの元気な吟声があったり、中には自己流の符をつけて堂々と吟じる子、失敗して頭を掻きかき退場する子、目線をマイクにあてて直立不動で吟じる子など飽きることがありませんでした。又さすがに高学年になると落ち着き、诗情あふれる吟詠に感動いたしました。最後を飾ったのは長野の「偶成」でした。

澆漓とした若者の生気が感じられ、これまた見事な出来ばえでした。

大会は和気藹々の雰囲気包まれ、盛況のうちを終りました。子供達の日頃の精進もさることながら、ここまでご指導なされた先生や、ご父兄の方々のご苦労はいかばかりかと思いつながら帰路に着きました。

## 十段受審の講習会に出席して

吟秀 加藤 芳 岳

9月8日、栄公会堂の会場は圧倒されんばかりの熱気に満ち溢れ、クーラーがきいてないと云う人、寒いと訴える人で騒めく中講義が始まりました。先生方は異口同音に時間の足りないことをばやかれながらも、懇切丁寧にポイントをついた御指導をしてくださいまして、我々も聞き漏らすまいと一心に耳を傾け、声を張り上げて吟じ、充実した時は瞬間に過ぎて行くのでした。

そんな中大変感動致しましたのは、控えの席に居られる時から具合悪そうにお見受けした先生は、昨日まで床についていらっしやうということでお辛そうでした。途中から思うようにならない声にかえて、大きく手を振

られながら、目線を左右隅々まで配られて、俳句のユリを繰り返し教えてくださったことです。一段と静まりかえった部屋の全員が、先生の眼と手に導かれて一つになり、大きく領かれるまで緊張し、終ってホッとして和みました。来年の4月受審まで、身を引き締め、コツコツと勉強を積み重ね、悔いの残らない最終審査となるようがんばります

### 碩心会65周年大会吟詠の内容について

「小楠公」作者 元田永孚 オカザキ トシフ 東野と号す。

熊本の人で儒学者（孔子が大成した政教一致の学問） 明治4年天皇の侍講（天皇に侍える講師）となり、明治24年没、74才。

一、父親の教訓は骨に刻みつけられており先帝のお言葉は、いまなお耳元に熱く残っている。

二、10年間たくわえ積んだ熱血の誠は、今日直ちに賊軍の白刃の前に、そのしぶきを挙げようとしているのである。

三、思えば天子の御前からおいとまを頂いて再びここに戻り、如意輪観音菩薩の前にひれ伏して、血の涙とともにその加護を祈るのである。

四、志を同じくする武將、兵卒百四十三人。その志を三十一文字の和歌一首に表わしてこれを観音堂の扉に鏤を以て書き残した。

五、その文字は扉の板に刻みつけられるや、そのまた輝やかしい光を発するかのごとくであった。

六、戦場となるべき北方四条駿を見れば、戦機は熟して、怪しげな気が漂っている。賊將は高師直である。

七、彼が首級を得なければ我が首を彼に与えよう。天の神々も地の神々も何とぞこの決意をご覧下さい。

八、成功、失敗は天命である。小さな存在でしかない人間のあれこれ云う余地ではないことである。この全身全霊を一点に集中した大いなる気は、この天地の間に渡り拡がって、永遠に存在し続けるであろう。

九、諸君見給え、吉野山中如意輪堂の扉に記した鏤の跡を。

それは今に至るまで生き生きと活動し、躍動する忠烈の魂そのものなのだ。（松井正岳）

入会（9月1日付）

371 須藤敦子 スズケ アツコ 逗子市小坪一―一八―四一  
（真澄） 〇四六七一―二五―四九七八

372 吉原益巳 ヨシハラ マスミ 逗子市小坪三―三―二三

（真澄） 〇四六七―二三―〇九九  
373 石渡美恵子 イシワタ ミエコ 横須賀市田浦町五―十七

（真澄） 〇四六八一―六一―八三三〇  
（真澄3名の紹介者 小池和子）

374 市原儀一 イチハラ ケイチ 逗子市沼間二―十五―三  
（逗子B） 〇四六八一―七三―三四〇四  
八段取得済

入会（10月1日付）

375 小峰辰夫 コミネ タツオ 葉山町堀内五二八  
（堀内B） 〇四六八一―七五―一五七四  
（紹介者 大石岳春）

退会（9月1日付）

109 田辺伯岳（逗子B） 235 牛尾昭風（真澄）

369 名越滋子（真澄） 85 隈園晴岳（吟秀）

232 和田美風（若葉） 336 藤松四一（吟秀、死）  
住所変更

197 伊藤和風 逗子市7―3―41ネオマイム 204  
（逗子A） 〇四六八一―七二―六四七〇

編集後記  
今年のカレンダーも残り少なくなり、各地の紅葉も美しく燃えて秋も本番。岳風会の全国大会・文化祭・地区温習会と忙がしい時ですが、日々の尊さが切に思われるこの頃です。